

近畿※における米生産をめぐる状況



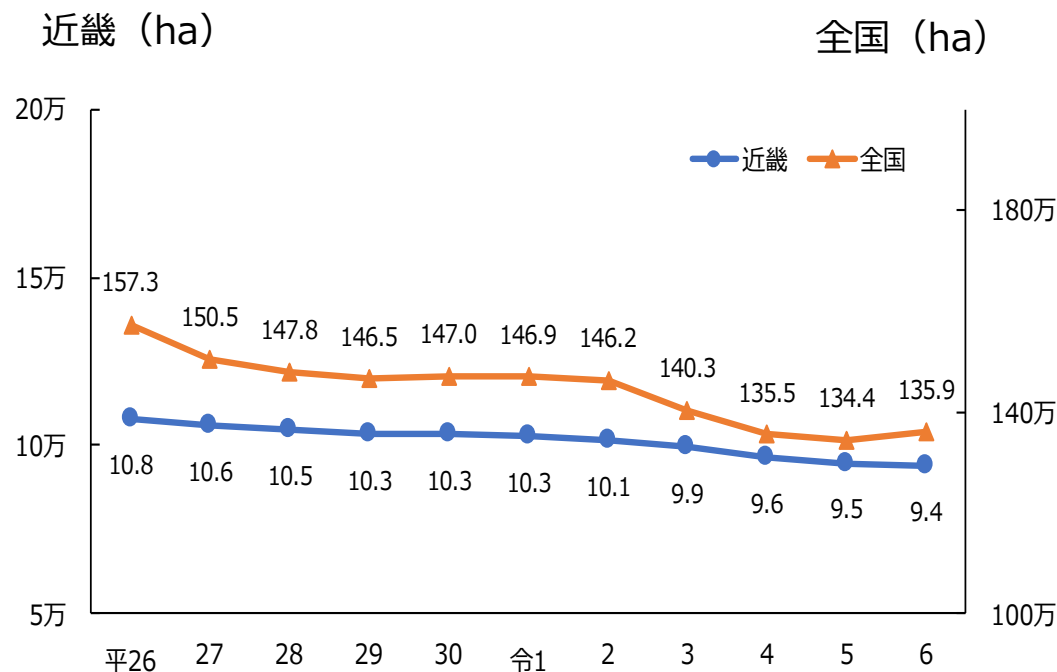
令和7年2月
近畿農政局 生産部 生産振興課

※本資料において、「近畿」は、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県を指します。

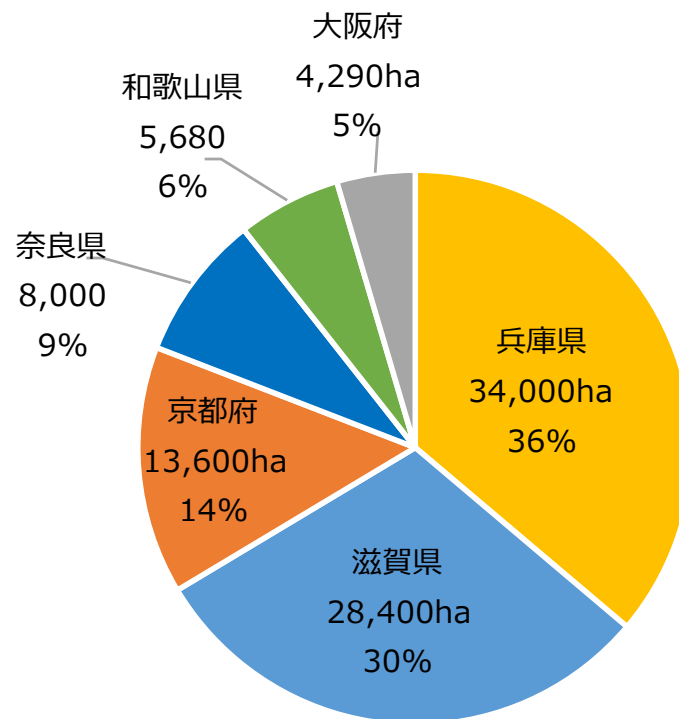
水稻の作付面積

近畿における令和6年産水稻の作付面積は94,000haと減少傾向で推移しており、全国（1,359,000ha）に占める割合は7%です。
府県別では、兵庫県が34,000ha、滋賀県が28,400haで、両県で近畿地域の66%を占めています。

水稻の作付面積の推移



令和6年産水稻の作付面積



水稻の収穫量

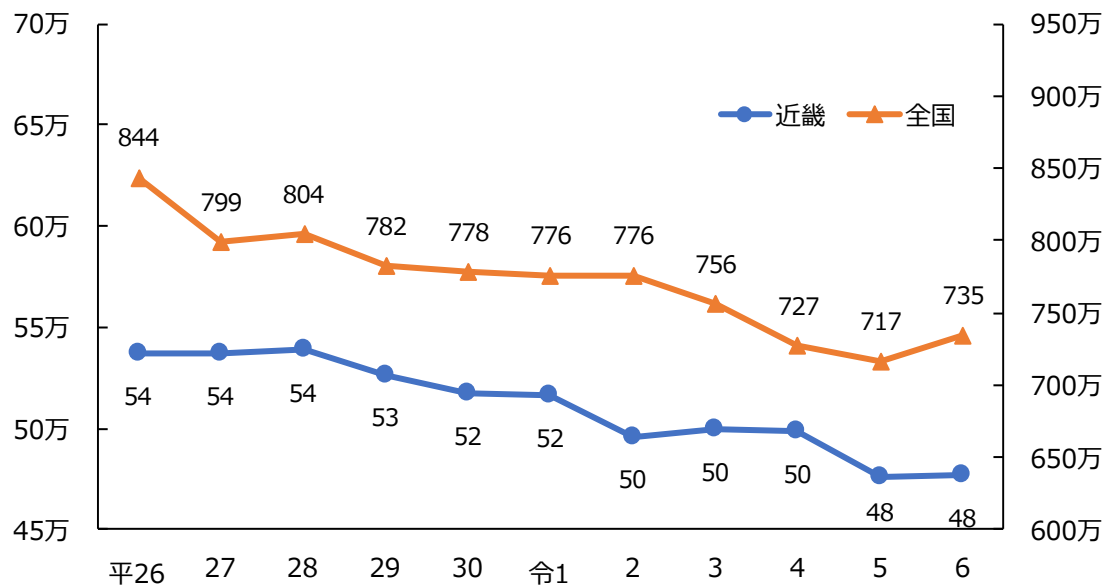
近畿における令和6年産の水稻の収穫量は、476,900 t で全国（7,345,000 t）に占める割合は約6.6%となっています。

府県別では、兵庫県が166,900 t、滋賀県が146,800 t で、両県で近畿地域の収穫量の66%を占めています。

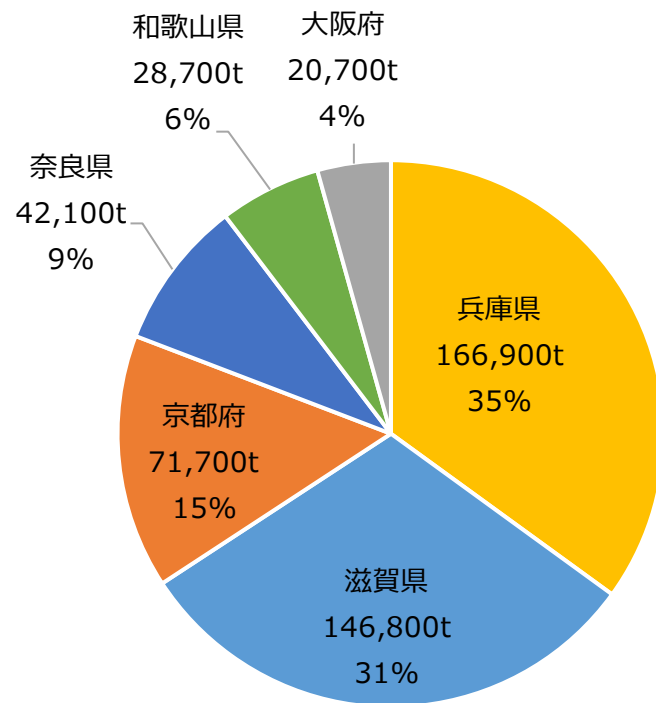
水稻の収穫量の推移

近畿（t）

全国（t）



令和6年産水稻の収穫量

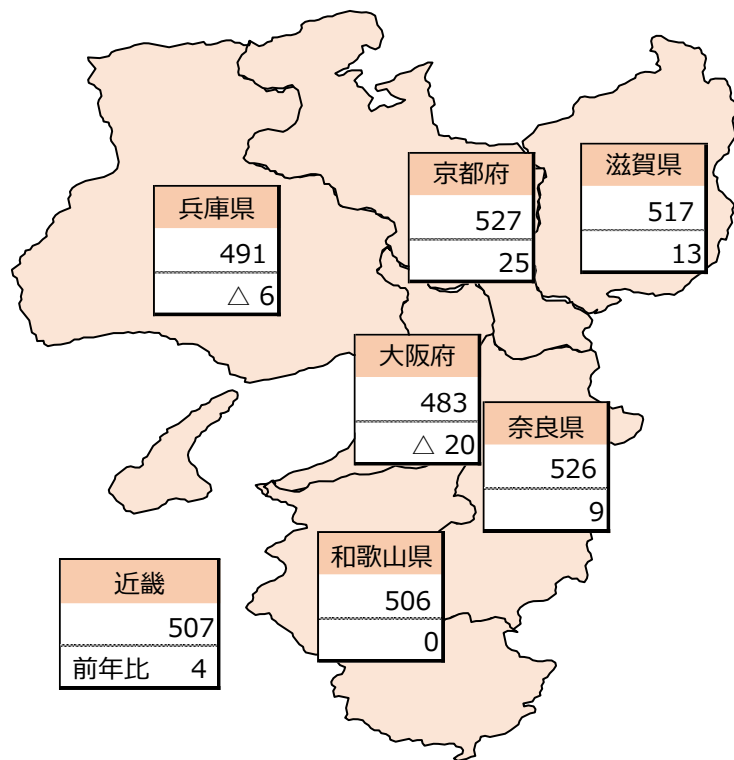


水稻の10a当たり収量

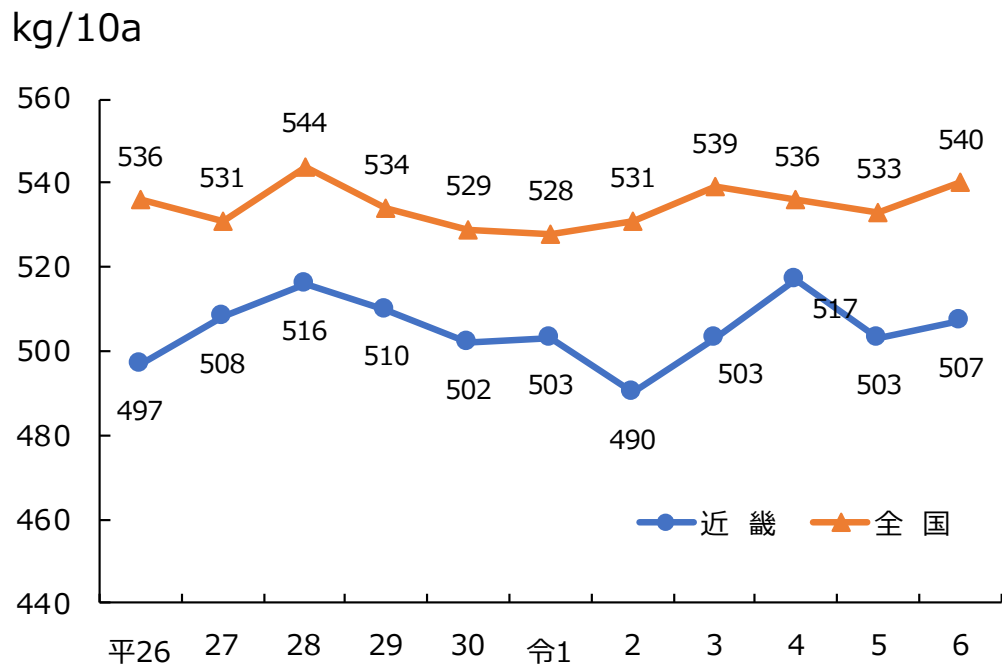
近畿における水稻の10a当たりの収量は、令和6年産が507kg/10aとなり、昨年に比べ単収が増加しました。

全国では昨年に比べ、令和6年産は540kg/10aと増加しました。

令和6年産水稻の10a当たり収量



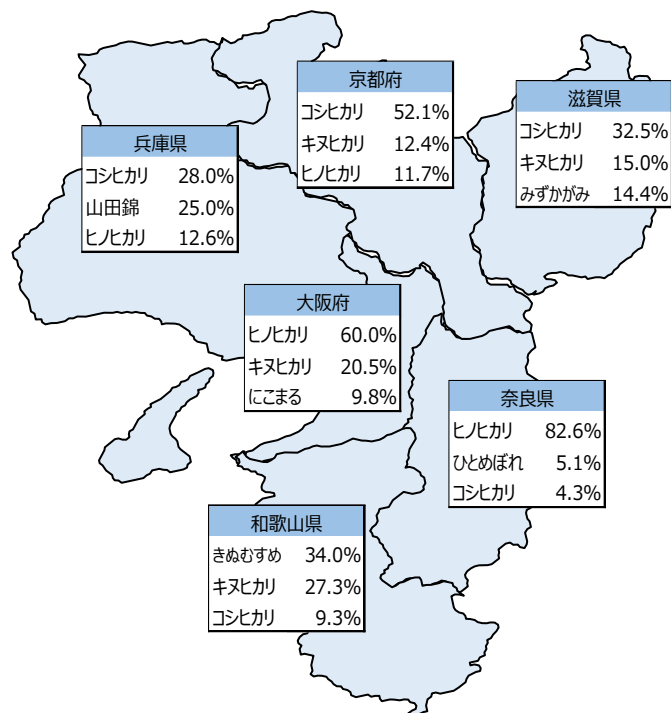
水稻の10a当たり収量の推移



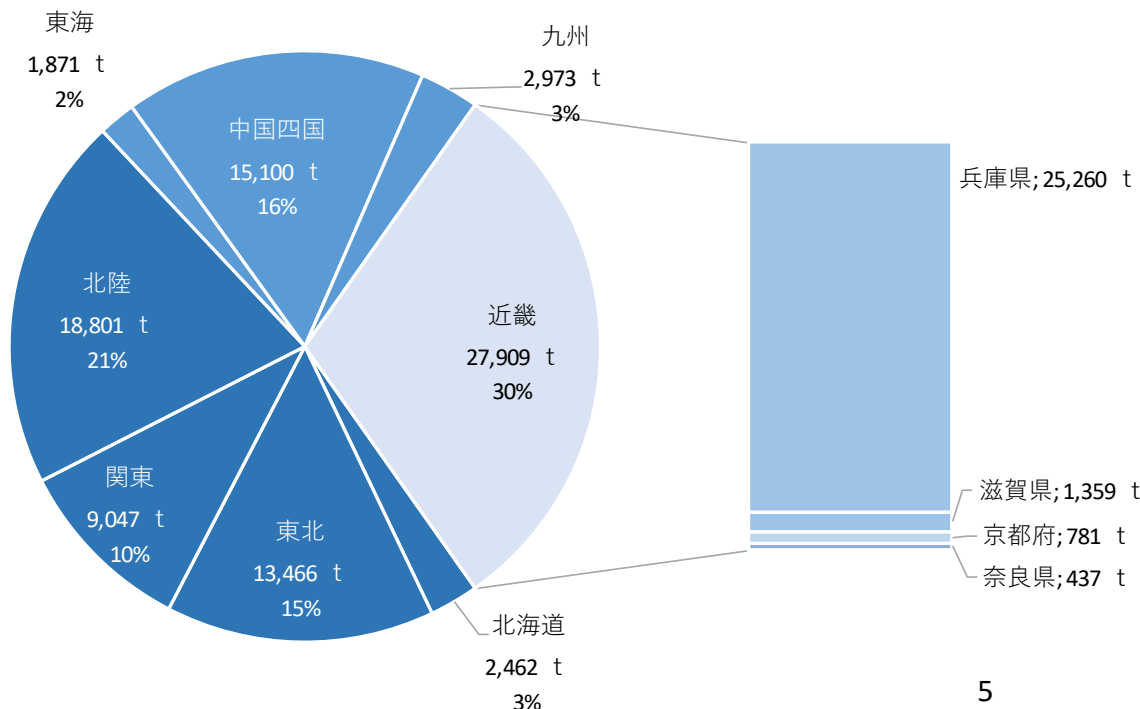
水稻の品種別の農産物検査状況

近畿における令和5年産の府県別主要品種の検査状況をみると、コシヒカリが滋賀県（32.5%）、京都府（52.1%）及び兵庫県（28.0%）、ヒノヒカリが大阪府（60.0%）及び奈良県（82.6%）、きぬむすめが和歌山県（34.0%）で、各府県でのシェア1位となっています。兵庫県では酒造好適米の生産が多く、山田錦の県内シェアが25.0%（2位）となっています。令和5年産醸造用玄米の検査数量をみると、全国の検査数量は91,630tで、兵庫県は25,260tと全国の30%を占めています。

令和5年産水稻の品種別の検査状況



令和5年産醸造用玄米の検査数量



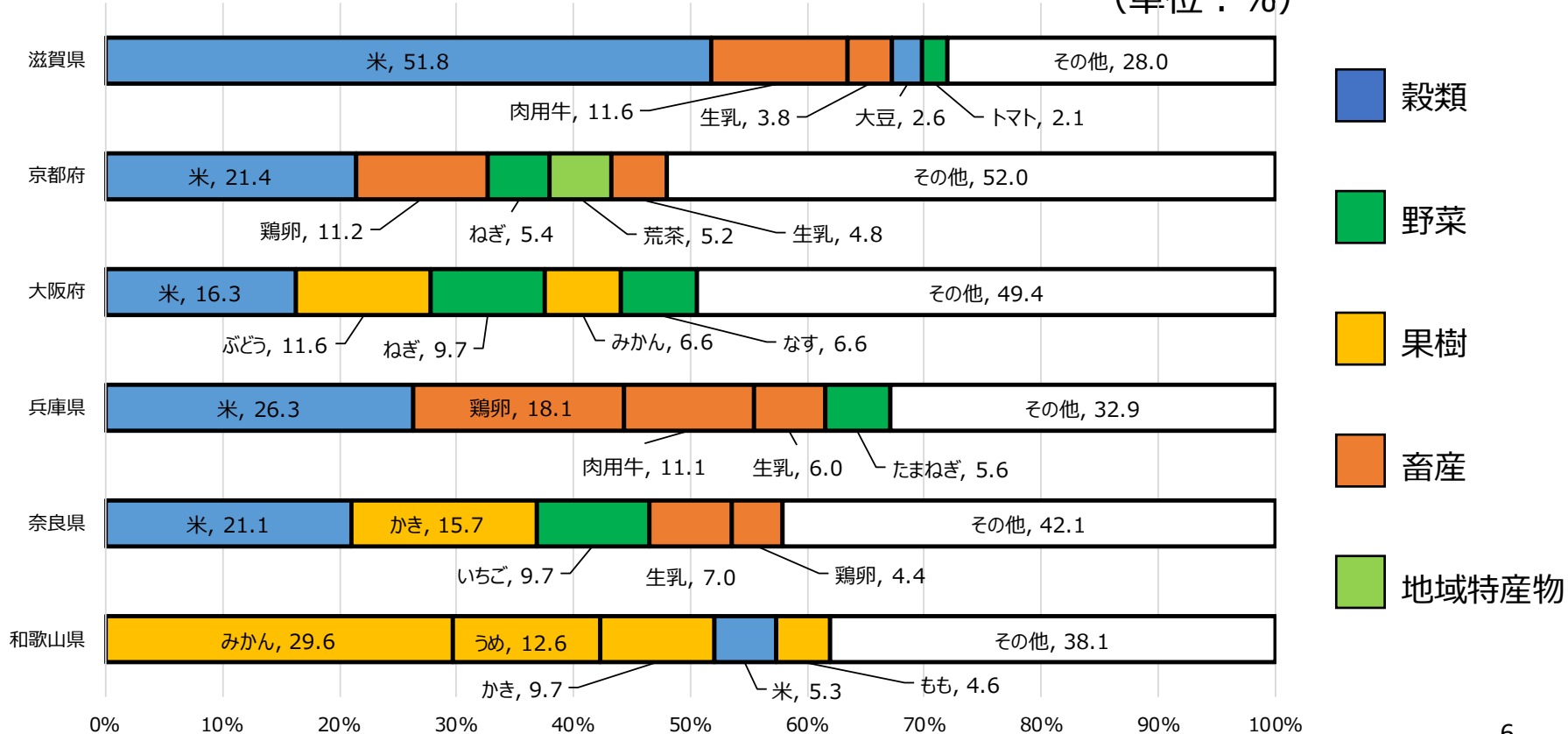
農業産出額に占める米の割合

近畿における令和5年の農業産出額をみると、和歌山県を除く5府県で、米の占める割合が第1位となっています。

中でも滋賀県は、農業産出額の米の占める割合が51.8%となっており、他府県と比べて高くなっています。

各府県の農業産出額の上位5品目と割合

(単位：%)



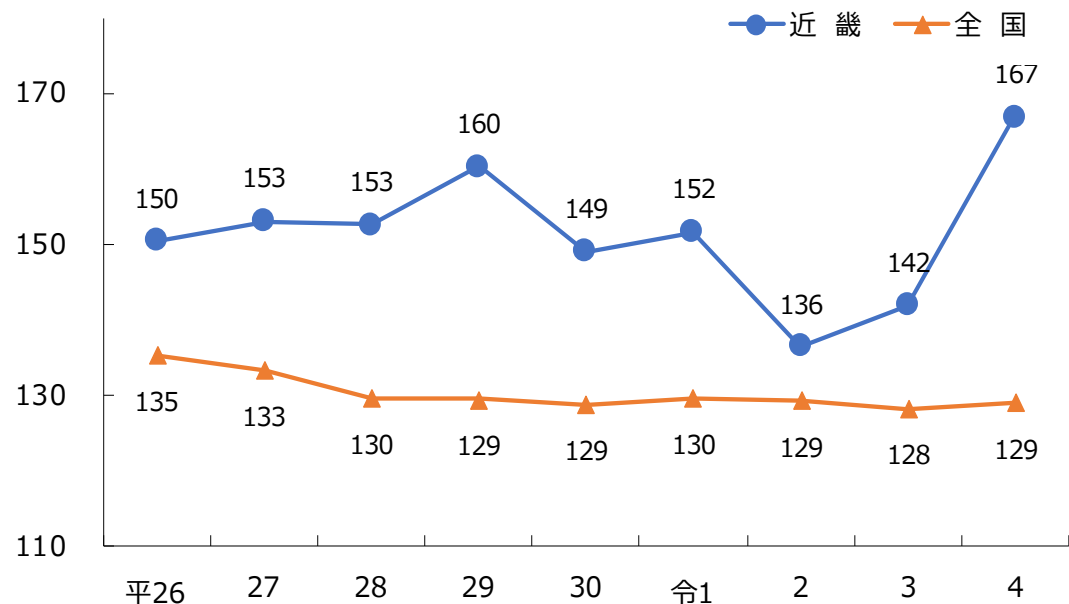
米の生産費（個別経営体）

近畿における令和4年産の水稻10a当たり生産費（全算入）は166,852円で、昨年から増加し、全国（128,932円）と比べて高くなっています。

近畿の生産費の内訳をみると、労働費が28%と高く、次いで農機具費が25%となっています。

10a当たり生産費(全算入)の推移

千円/10a



令和4年産米の生産費の構成割合（近畿）

